



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 06, July 2014

Newsletter

平成 25 年度事業報告・収支決算

財団は、6月6日に理事会、6月23日に評議員会を開催し、「平成25年度事業報告」及び「平成25年度収支決算」等を審議し、提案どおり議決・同意を得ました。その概要は次のとおりです。

平成 25 年度事業報告

1 学術情報の発信

(1) 『学術の動向』の発行

日本学術会議の編集協力を得て、総合学術情報誌『学術の動向』を刊行した。同誌は、国内外の学術の動向を掲載するほか、日本学術会議の決定事項、各種委員会の活動状況等を合せて掲載し、広く一般国民、大学、研究機関、学協会等に周知するものである。

(2) 『学術会議叢書』の発行

国民生活に密着した話題にタイムリーに対応し、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学術会議が主催した公開講演会の記録をベースに関連資料及び解説を加えて編集した学術会議叢書を刊行しており、今年度は、次の1冊を刊行した。

・学術会議叢書 20『放射能除染の土壌科学』

なお、学術会議叢書 20 は、(公財) 一ツ橋総合財団からの助成を受けて、全国約 1,500ヶ所の国公立図書館・大学図書館等に寄贈するとともに、学術団体等の賛助会員に無償配布した。

2 学術連携推進事業

(1) 科学者連携事業

日本学術会議の主催の講演会、シンポジウム等の事業について、学術普及・啓発事業の一環として協力した。

(2) 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信

データベース学会名鑑

(独) 科学技術振興機構 (JST) ・日本学術会議・財団の共同事業として、インターネット上で公開している。「学会名鑑」の内容の充実を図った。

this issue

平成 25 年度事業報告・収支決算
データベース学会名鑑について
賛助会員の状況
学術会議叢書 21 について
学術関係団体事務支援事業
公開講演会開催に対する支援
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人
日本学術協力財団
〒106-0031
東京都港区西麻布 3-24-20
TEL 03-3403-9788
FAX 03-5410-1822
URL
<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/>

2014 年 7 月 1 日発行

平成 25 年度事業報告（続き）

(2) 学協会に関する実態調査及び調査結果の情報発信

学術の動向

特集記事等を、(独)科学技術振興機構(JST)のJ-STAGE及び財団ホームページで公開した。

(3) 国際学術交流事業の実施

予定していたが、実施するに至らなかった。

(4) 学術調査研究事業の実施

国、政府関係機関等からの受託を予定していたが、実施するに至らなかった。

3 学術関係団体事務支援事業の実施

日本学術会議同友会、日本医歯薬アカデミー、日本農学アカデミー、硬組織再生生物学会など学・協会からの要請を受けて、各団体の活動に係る事務の支援を行った。

4 運営基盤の強化

当財団は、学術に関する知識情報の普及を図る活動を行っている、今後、当財団の果たす役割も一層重要性が増していることから、当財団の運営基盤の強化を図った。

平成 25 年度収支決算

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

科 目	予 算
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 事業活動収入	
基本財産運用益	326
受取会費	13,367
事業収益	9,743
寄附金等	3,500
その他収入	40
経常収益計	26,976
(2) 経常費用	
事業費	22,756
管理費	4,695
経常費用計	27,451
当期経常増減額	△ 475
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	0
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
一般正味財産期末残高	9,974
II 指定正味財産増減の部	
指定正味財産期末残高	26,590
III 正味財産期末残高	36,564

データベース学会名鑑について

財団は、平成 23 年 7 月、日本学術会議、独立行政法人科学技術振興機構(JST)と連携してデータベース学会名鑑の運用を開始いたしました。本年 7 月で三年を迎えました。

現在、調査の回答をいただき、掲載されております学協会は、約半数でございますが、未回答の学協会につきましては、回答をいただき次第、順次掲載させていただきますので、調査にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

また、掲載後に掲載事項の変更がございましたら、当財団宛てお知らせください。掲載事項の変更につきましては、四半期ごとに更新させていただいております。

本サイトが、各学術団体の皆様のご協力により、更に充実し、多くの研究者や学術団体の方々のお役に立つことを期待しております。

賛助会員の状況

財団の平成 26 年 3 月 31 日現在の賛助会員数は、次のとおりです。

(単位：人・法人)

	区分	個人	学術団体	企業等	合計
24 年度	入会	26	2	0	28
	退会(逝去含)	66	3	0	69
	年度末現在	929	99	1	1,029
25 年度	入会	14	0	0	14
	退会(逝去含)	40	4	0	44
	年度末現在	903	95	1	999

賛助会員については、『学術の動向』の無料配布、出版物の割引頒布があります。



学術会議叢書 21

『高レベル放射性廃棄物の最終処分について』 (仮題) の出版について

日本学術会議は、平成22年9月7日に内閣府原子力委員会委員長から「高レベル放射性廃棄物の処分に関する取り組みについて」と題する審議依頼を受け、同年9月16日に「高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会」を設置し、審議を行いました。

その後、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故等が発生し、放射能汚染問題や放射性廃棄物の取り扱いについて、全国民の関心を集めることとなりましたが、日本学術会議ではその後も審議を重ね、平成24年9月11日に審議結果を原子力委員会委員長あてに回答いたしました。この回答は、メディアでも取り上げられ、また、一般国民の方々の関心も高かったため、日本学術会議では、学術フォーラム「高レベル放射性廃棄物の処分を巡って」を開催いたしました。

財団では、この学術フォーラムの内容を取り纏め、平成26年度の『学術会議叢書21』として発刊することとしました。

現在、10月末の発刊を目指して鋭意作業を行っています。是非、ご期待下さい。

なお、この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成を頂き、全国約1,500ヶ所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

【執筆予定者】

- ・大西 隆 日本学術会議会長
- ・今田 高俊 日本学術会議会員
- ・鈴木 達治郎 原子力委員会委員長代理
- ・武田 精悦 原子力発電環境整備機構理事
- ・石橋 克彦 元国会福島原子力発電所事故調査委員会委員
- ・山口 幸夫 NPO法人原子力資料情報室共同代表
- ・船橋 晴俊 日本学術会議連携会員
- ・千木 良雅弘 日本学術会議連携会員
- ・山地 憲治 日本学術会議会員
- ・柴田 徳思 日本学術会議連携会員

(敬称略・肩書きは、学術フォーラム時のもの)

学術関係団体事務支援事業

【日本医歯薬アカデミー】

4月9日に理事会及び総会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本学術会議同友会】

4月11日に総会及び懇親会が行われ、財団がその支援を行いました。

【日本農学アカデミー】

7月19日、東京大学農学部フードサイエンス棟において総会及びミニシンポジウム「農学における分子生物学の発展と将来」が開催されますが、財団がその支援を行います。

日本学術会議部会・地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行う予定です。

◎日本学術会議中部地区会議主催

「地方から世界を目指す先端研究
—分子イメージングと遠赤外交—」

平成26年7月4日(金)

於：福井大学総合研究棟

◎日本学術会議第三部主催

「社会のための科学を考える(仮題)」

平成26年8月4日(月)

於：旭川市民文化会館

◎日本学術会議第二部主催

「市民公開講演会」

平成26年8月5日(火)

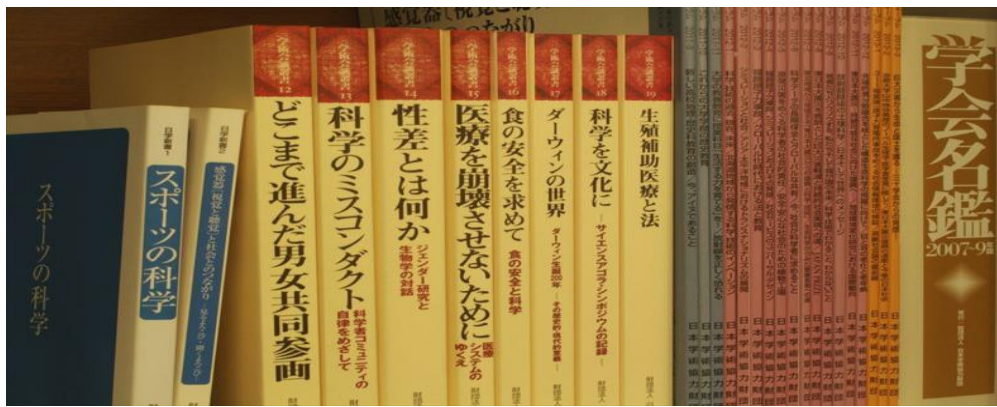
於：名古屋大学

◎日本学術会議近畿地区会議主催

「学術講演会」

平成26年8月30日(土)

於：大阪科学技術センター



**データベース
学会名鑑**

<http://gakkai.jst.go.jp/gakkai/>

データベース「学会名鑑」は、従来、財団が冊子媒体で発行していた『学会名鑑』を基に、約2,100の国内学術団体に対して調査を行い、日本学術会議、独立行政法人科学技術振興機構（JST）及び日本学術協力財団が協力して主要学術団体の各種データを収録したものです。下記URLからいつでもご覧いただけます。

<http://gakkai.jst.go.jp/>

**消費税引き上げに伴う
出版物値上げのお知らせ**

平成26年4月より消費税率が5%から8%に引き上げられました。

つきましては、当財団が発行する出版物につきましても、新税率8%でのご請求となります。ご理解のほど、よろしく願いいたします。

出版物のご案内 ※お申込みはFAXにて 03-5410-1822

月刊誌 学術の動向 本体価格 720 円＋税（送料込）
年間購読 8,230 円（税・送料込）
賛助会員は無料配布

- '14年 4月号 力学基盤の課題とその解決に向けて
原発災害からの回復と復興のために必要な課題と
取り組み態勢について
- 5月号 大学における教養教育とジェンダー—今何を問うべきか?—
生活習慣病予防、重症化予防の推進のための
健診・保健指導の在り方
- 6月号 マスタープラン 2014—第22期日本学術会議の大型研究計画—
3.11後の科学と社会—福島から考える—

学術会議叢書 A5判・本体価格 1,800 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 1,750 円（税・送料込）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 生殖医療と生命倫理 | 11 舞踊と身体表現 |
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 12 どこまで進んだ男女共同参画 |
| 3 男女共同参画社会（品切れ） | 13 科学のミスコンダクト（品切れ） |
| 4 エネルギー学を考える（1,600 円＋税） | 14 性差とは何か（品切れ） |
| 5 多発する事故から何を学ぶか | 15 医療を崩壊させないために |
| 6 なぜなぜ宇宙と生命（品切れ） | 16 食の安全を求めて |
| 7 先端科学技術と法 | 17 ダーウィンの世界 |
| 8 食の安全と安心を守る（品切れ） | 18 科学を文化に |
| 9 医療事故は予防できるか | 19 生殖補助医療と法 |
| 10 今、なぜ、若者の理科離れか（品切れ） | 20 放射能除染の土壤科学 |

※品切れ図書につきましては、コピーサービスを行っています。

日学新書 新書判・本体価格 750 円＋税（送料別）
賛助会員は割引価格 730 円（税・送料込）

- 1 スポーツの科学
- 2 感覚器〔視覚と聴覚〕と社会とのつながり
- 3 地球社会の環境ビジョン—これからの環境学—

公益財団法人日本学術協力財団

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。
今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

〒106-0031
東京都港区西麻布 3-24-20
TEL 03-3403-9788
03-5410-0242
FAX 03-5410-1822
URL <http://www.h4.dion.ne.jp/~jss/>